

2025年4月吉日

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 村上 雅人

「Study Mission on Strengthening Military Defense Facilities
in the United States and Canada」

『米国・カナダにおける防衛施設に関する強靱化調査団』派遣に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。

国家防衛戦略には、「防衛生産・技術基盤はいわば国内防衛力そのものと位置づけられ、その強化は必要不可欠」と記されています。その手段として防衛装備品の輸出を促進し、ほぼ自衛隊に限られてきた販路を広げるため、政府は防衛装備移転の原則を定めて、一定の条件下で輸出を認めることにしました。

こうした状況を踏まえ本連盟では、日本の防衛産業とグローバルサプライチェーンの強靱化を支援するため、第1次調査団を2024年3月 米国に派遣、第2次調査団を2024年10月 英国・フランス・チェコに派遣し、多大な成果を挙げました。

昨今、世界各地では武力紛争や戦争、テロが続いています。令和4年に始まったロシアのウクライナ侵攻、令和5年のイスラエルとハマスの大規模な戦闘など、国際的な安全保障環境はますます厳しさを増しています。この状況を踏まえ、政府は国家防衛戦略に基づき、防衛施設の強靱化を最優先課題としています。

日本社会は平和と安全を前提に社会経済活動を行っています。それを支える社会インフラの整備は重要な社会的役割です。古代ローマが水道や道路整備で経済活動と兵站能力を向上させ繁栄を支えたように、社会インフラの整備は国の繁栄に欠かせません。その中でも、防衛施設は平和と安全の礎であり、極めて重要なインフラです。したがって、我が国の平和と安全に貢献するため、防衛施設の強靱化に取り組む社会的責務が求められています。

また、日本は災害が多く、令和6年1月には能登半島地震が発生し、輪島市にある自衛隊施設を含むインフラに被害が出ました。防衛施設が被災した際には、迅速な復旧が必要です。被災インフラの復旧技術やノウハウを活かし、災害や有事の際の防衛施設の復旧に貢献できます。

このような背景から、**カナダ防衛安全保障産業協会（CADSI）主催により5月28日～29日カナダのオタワで開催されるCANSEC 2025への参加を兼ねて、現地関係者との交流を交えて相互交流を致します。**

我が国の関連企業・団体が持つ技術や知見を結集し、防衛施設の強靱化を推進し、我が国の平和と安全に貢献することを目的に訪米調査団を派遣します。**お申込み期限は2025年4月18日（金）となっております。**多くの関係者の皆様のご理解とご賛同を心よりお願い申し上げます。

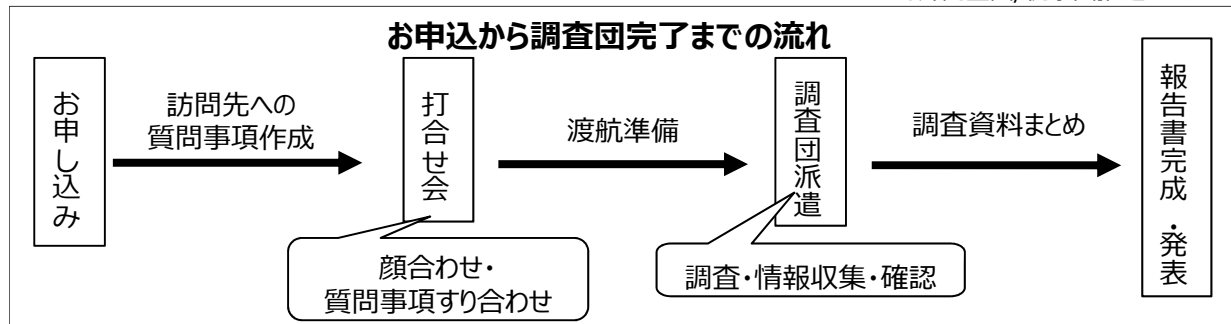
敬具

【海外調査団/視察団へ参加する意義とは】

海外へ行って、見てみる、感じてみる、（Go and See）自社の世界のみならず他業界を含めて現場に行き、体験したり、組織の中でどのような活動をしているのか、どのような切り口で付加価値を伴っているかを聴いてみるのは大変有効である。自分が理解していないことを理解するためにも必要な行動でもある。また、参加団員相互の友好関係を通じて海外人脈の構築は二つ目の付加価値である。

一般社団法人日本技術者連盟
海外調査団/視察団推進センター

お申込から調査団完了までの流れ



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL: 03-6229-1946 FAX: 03-6229-1940
E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp
URL: <http://www.jef-site.or.jp>
URL: <https://www.wkx21c.org>

『『米国・カナダにおける防衛施設に関する強靱化調査団』』

「Study Mission on Strengthening Military Defense Facilities in the United States and Canada」

参加要項

1. テーマ：『米国・カナダにおける防衛施設に関する強靱化調査団』

「Study Mission on Strengthening Military Defense Facilities in the United States and Canada」

2. 期 間： 2025年 5月25日（日）～6月1日（日）（8日間を予定）

3. 主 催： 一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）

4. 後 援： 公益財団法人防衛基盤整備協会

（順不同・ご依頼予定） 一般財団法人防衛技術協会

5. 団 長： 前統合幕僚長 元陸将 山崎 幸二 氏



1983年 防衛大学校本科土木工学専攻卒業（第27期）

陸上自衛隊入隊

2001年 第8施設大隊長

2003年 陸上幕僚監部人事部人事第一班長

2005年 中央資料隊付（米国国防大学留学）

2006年 陸上幕僚監部装備部装備計画課長

2008年 第4施設団長

2010年 西部方面総監部幕僚副長

2012年 陸上幕僚監部人事部長

2014年 第9師団長

2015年 統合幕僚副長

2016年 北部方面総監

2017年 陸上幕僚長

2019年 統合幕僚長

2023年 退職

2023年 防衛省顧問

栄典

2018年 米国レジオン・オブ・メリット・コマンドー勲章

2020年 仏国レジオンドヌール・オフィシエ勲章

2022年 豪国オフィサー・オブ・ジ・オーダー勲章

2022年 米国レジオン・オブ・メリット・コマンドー勲章

6. 調査項目：（案）

- ① 防衛施設に関する強靱化と安全対策
- ② 防衛施設整備の強靱）の取り組みと技術革新
- ③ サイバーセキュリティとり化に関する国際協力
- ④ 防衛基盤／生産基盤の強化とイノベーション
- ⑤ 陸上・海上・航空分野におけるDX化
- ⑥ 軍民両用（デュアルユース管理システム
- ⑦ 被災インフラの復旧技術やノウハウについて
- ⑧ 地下施設・構造物の建設技術
- ⑨ その他

7. 参加対象

防衛施設に携わる企業／団体／公的機関、及び今後 防衛施設関連事業に参入する意思のある関係者の皆様

8. 予定訪問先候補・概要：※訪問先候補は変更になる場合もありますので、予めご了承下さいませ
お願い致します。

1. 米国の関係政府機関

■ 国土安全保障省（DHS）

概要：国内の安全保障を担当し、重要インフラの保護や災害対策を行っています。

所在地：ワシントンD.C.

特記事項：防衛施設の強靱化に関連するインフラ保護の政策や実践について情報収集が可能。

■ 米国陸軍工兵隊（US Army Corps of Engineers, USACE）

概要：防衛施設や災害対応、環境管理において重要な役割を担う組織です。軍事施設や公共インフラの建設と保守に幅広く関与しています。

所在地：ワシントンD.C.

特記事項：災害対応の迅速な復旧方法、施設の耐災害性強化手法についても学ぶことができます。日本と共同の技術研究プロジェクトも複数行っています。

■ レオナルド DRS（Leonardo DRS）

概要：防衛施設およびセキュリティ分野のエンジニアリングとシステムインテグレーションに特化しています。

所在地：バージニア州アーリントン

特記事項：防衛施設におけるセキュリティ対策の最新技術を学ぶことができます。

■ 米国軍事技術者協会（SAME）

概要：1920年に設立された非営利団体で、軍事および民間のエンジニアリング専門家が連携し、国家の安全保障を支援しています。Same Japanがあります。

所在地：バージニア州アレクサンドリア

特記事項：日本との交流に積極的であり、技術情報の共有や共同プロジェクトの可能性を探る事ができます。

■ カナダ防衛安全保障産業協会（CADSI）主催により5月28日～29日カナダのオタワで開催される CANSEC 2025への参加。

1998 年以来、カナダ防衛安全保障産業協会The Canadian Association of Defence and Security Industries (CADSI)は毎年オタワで CANSEC を開催しています。

このイベントでは、陸軍、海軍、航空、統合軍などの軍隊で利用できる最新のテクノロジー、製品、サービスが紹介されます。CANSECは、緊急対応要員や警察官、国境警備および法執行機関、特殊作戦部隊のためのワンストップ ショップとしても機能しています。

■ カナダ国防省（Department of National Defence, DND）

概要：カナダの国防政策を策定・実施する主要な政府機関であり、防衛施設の管理や安全対策、軍民両用技術の開発などを担当しています。

所在地：カナダ オタワ

■ カナダ建設技術センター（Canadian Construction Innovations, CCI）

概要：建設業界のイノベーションを推進する団体で、防衛施設の強靱化や地下構造物の建設技術に関するプロジェクトなどを支援しています。

所在地：トロント近郊。

または、

■ カナダ先進技術アライアンス（Canadian Advanced Technology Alliance, CATA）

概要：カナダのハイテク産業を代表する団体で、デジタルトランスフォーメーション（DX）やAI、サイバーセキュリティに関する取り組みを推進しています。

所在地：オタワ近郊

その他、訪問先候補：

■ ベクテル（Bechtel）

概要：世界有数のエンジニアリング・建設企業で、多くの防衛関連プロジェクトを手掛けています。

所在地：バージニア州レストン。

特記事項：大規模インフラプロジェクトの計画・実施に関する知見を得ることができます。

参加要項

9. 募集人員：15名

10. 参加費：¥1,850,000-（予定・税別 お申込金 50万円を含む）

※日程その他に変更が生じた場合には、参加要項等に変更がありますことを予めご了承下さい。

11. 通訳・プロジェクトマネージャー：各コース共、現地同行

12. ホテル：一人部屋

13. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構

東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950

14. 運営実施：観光庁長官登録旅行業者

15. 申込方法：添付申込書に必要事項をご記入の上、参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピー及び名刺のコピー（和文と英文）を添えて、

2025年4月18日（金）までに、E-mail（gyomu1@jef-site.or.jp）

までお申込み下さい。担当者より、ご連絡申し上げます。

※稟議の都合上、お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。

16. 代金支払：一般社団法人日本技術者連盟の総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。

期日までにお振込み下さいますよう、お願い申し上げます。



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <https://www.wkx21c.org>

**『米国・カナダにおける防衛施設に関する強靱化調査団』
日程表**

2025年5月25日（日）～6月1日（日） 8日間

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	5/25 (日)	羽田発 ワシントンDC着	Air		羽田国際空港 出発 ワシントンDC空港 到着	機内食
2	5/26 (月)				国土安全保障省（DHS）訪問 米国陸軍工兵隊（US Army Corps of Engineers, USACE）訪問	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
3	5/27 (火)				レオナルド DRS（Leonardo DRS）訪問	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
4	5/28 (水)	ワシントンDC発 オタワ着	Air		米国軍事技術者協会（SAME）訪問 移動	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
5	5/29 (木)				CANSEC2025への参加 ※関係者とのMeeting	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
6	5/30 (金)				カナダ国防省（Department of National Defence, DND） カナダ建設技術センター（Canadian Construction Innovations, CCI）又はカナダ先進技術アライアンス（Canadian Advanced Technology Alliance, CATA）	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
7	5/31 (土)	オタワ発 ニューアーク経由	Air		オタワ国際空港 出発	朝 ○ 昼 ×
8	6/1 (日)	羽田着			日本（東京） 到着	機内食

* 上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <https://www.wkx21c.org>

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- 団体エコノミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への専用車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 施設等見学費
- 団長、通訳、添乗員 同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費（リスク管理費を含む）
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

お客様のご都合によるキャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後、旅行開始日の前日から起算して31日目にあたる日までの取消料：**お申込金 50万円**
- 旅行開始日の前日から起算して30日目に当たる日以降から旅行開始3日前までの取消料：**参加費の50%、及び企画手配料10万円**
- 旅行開始日の前々日以降の取消料：参加費全額

詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

その他

- ◆ 参加費は、2025年1月末日時点の運賃及び10名以上の参加者数に準拠したものです。ご出発前に、参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用が変更になる可能性もございますので、予めご了承下さい。

参加における注意事項

■ 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。

所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- 飛行機が遅延した際の費用保障
- 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先
- 補償限度額（入国時に、補償額への条件を設けた海外旅行保険加入を義務付けている国がございます）

■ 渡航前準備について

訪問先の入国時に、査証が必要となる場合がございます。

査証取得のお手続き、費用のお支払い等については、ご参加者様ご自身にてお願い致します。

詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	村上 雅人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、芝浦工業大学 元 学長、工学博士
顧問	野々内 隆	元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元一般財団法人経済産業調査会 理事長
	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	松井 一秋	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
理事	井戸田 勲	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人滋慶学園 総長 Ph.D.
	内藤 香	元 公益財団法人核物質管理センター理事長
	林道 寛	元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)
総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

『米国・カナダにおける防衛施設に関する強靱化調査団』 参加申込書 一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）行			
会社名・団体名			
所属名/役職名			
フリガナ		生年月日	西暦 年 月 日
参加者氏名			
パスポート記載名 (ローマ字 姓名)		英文表記名 (Mr. Ms. Dr. Ph.D.なども記載)	
E-mail		携帯電話番号	
ご住所	〒 -		
電話番号		FAX番号	
ご住所	〒 -		
電話番号			
フリガナ			
担当責任者名 今回の参加について 状況をご存知の方	印		
所属名/役職名			
電話番号/E-mail			
旅券（パスポート）について；今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。（日本帰国日より3ヵ月以上の残存期間が必要）			
① はい	旅券番号：	有効期限	西暦 年 月 日
② いいえ	取得予定日 2025 年 月 日 （ 月 日までには必ず取得してください）		
強いアレルギーなど ございますか			
通信欄 ご質問・ご希望等	マイレージをお持ちの方は番号をご記載ください（例 JAL 1234567、ANA 2345678 他）		

個人情報保護方針
本行申込書に記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報の取扱いに準じて適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。
1. 個人情報の取扱いの目的
お客様の申込み及び申込内容に基づき、宿泊その他の旅行に関するサービス（以下「旅行サービス」といいます）を提供するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。
2. 個人情報の開示・提供
下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。
ア. 本人の同意がある場合
イ. 旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。
ウ. 法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。
3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催：一般社団法人日本技術者連盟

<http://www.jef-site.or.jp> / <https://www.wkx21c.org> / E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局：株式会社アジア技術移転機構
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL : 03-6229-1950
FAX : 03-6229-1940